

県南教育事務所
教育情報

南風

平成28年3月1日(火)
No. 14【通巻第88号】
文責：皆川晃宏

管内教務主任研修会

平成27年12月2日(水)、東山地域交流センターで管内小・中学校教務主任研修会を行いました。研修会では、平成28年度の教育課程編成に向けて、県南教育事務所が掲げる指導の重点に合わせて今年度行った各種研修会の概要を説明しました。また、「児童生徒の学力保障に向けた取組」と「組織的に取り組むための手立て」について、小・中学校別に協議しました。

講義「H28教育課程編成上の留意点」 —各種研修会で学んだことを生かす—

「いわての復興教育」の推進

- ★「副読本年間活用計画」の作成と見直し
 - *年間活用計画に基づく副読本の活用
 - *年間活用計画の見直し
 - ※ 年間活用計画作成状況(県南教育事務所) 86校/98校(88%) 今年度中に100%に!

「確かな学力」の育成

- ★学力向上のための組織的な取組
 - *調査結果活用レポートを年度をまたいで活用
 - *授業改善のサイクル(PDCAサイクル)化
 - ※ 計画(P)→実行(D)→評価(C)→改善(A)における「CAP」の強化を!

「特別支援教育の充実

- ★「個別の教育支援計画」の作成
 - *「個別の教育支援計画」に基づく学びの積み上げ
 - ※ 特別支援学級における「個別の教育支援計画」作成状況(県南教育事務所) 小90% 中89% 今年度中に100%に!

「豊かな人間性」の育成

- ★いじめの未然防止に向けた取組
 - *「学校いじめ防止基本方針」に基づく全職員による取組
 - ※ 「学校が児童生徒をどのように育てようとしているか、教員が何をすべきか、保護者・地域がどう協力すべきか」を明確に!

「健やかな体」の育成

- ★学校における救急対応
 - *自校の救急体制の構築と確認
 - *救命救急に関する校内研修
- ★健やかな体の育成
 - *体力向上と肥満防止への取組
 - ※ 「希望郷いわて 元気・体力アップ60運動」の推進を!

グループ協議1 「児童生徒の学力保障に向けた取組」

話題になった主な内容

【学校全体での取組】

- 調査結果活用レポートの共有・活用
- 授業改善、教育課程の見直し
- 学力保障の取組と校内研
- 少人数指導、TT指導

【教務主任の役割】

- 教育課程の見直し・調整
- 研究主任との連携
- 補充指導
- 職員会議、職員終会等のもち方の工夫



グループ協議2 「組織的に取り組むための手立て」

話題になった主な内容

- 週予定の工夫
- 年度末反省の生かし方
- 各分掌との連携、仕事の分担
- 目指す方向性の共有、見通し
のもたせ方



研修者の感想から

- ◎来年度の計画を立てる際の参考になった。
- ◎研修会で学んだことを各担当と確認し、来年度に生かしたい。
- ◎学力向上だけでなく、生徒指導や保健指導等の校内研修も設定する必要があると感じた。
- ◎教務主任が要となってやらなければいけない教育活動について、実践を重ねていきたい。
- ◎教務の仕事の幅を広げていく必要性を感じた。
- ◎組織的に動くための教務主任としての役割について学ぶことができた。

キーワードは「**学校全体での取組**」です。教務主任と各担当との連携が重要になります。